



出光興産株式会社 代表取締役社長  
中野和久 様  
〒100-8321 東京都千代田区丸の内 3-1-1

2012年7月17日

拝啓

私どもはオーストラリアのニュー・サウス・ウェールズ北西部に本部を持つ環境保護団体で Northern Inland Council for the Environment (注) と申します。

気候ネットワーク様には日本でのサポートをいただき連絡窓口をしていただいております。

今回、貴子会社の Idemitsu Australia Resources 社より、私どもの地域にございます同社のボガブライ鉱山を4倍に拡大するという提案があり、懸念を抱いております。

拡大計画が実行された場合、露天採鉱をするために 1,300 ヘクタール以上に及ぶ森林が伐採されることとなりますが、その森林には現在コアラが生息しております。

添付しております地図は、同社が作成しました計画中の鉱山の地図です。コアラがゴムの木の森に生息していることが最近報告された地域まで計画は及んでおり、それらの森林が破壊されることがわかります。

ご存知の通り、コアラは脆弱種に指定されており、また私どもオーストラリアの国の象徴ともいえる動物です。日本からも多くの方が自然の中で生息するコアラを見るために私どもの国へ来られます。

貴子会社の鉱山計画はこの貴重種であるコアラを危険にさらすものであり、生息が判明している個体数すべてを失うこととなります。ボガブライ鉱山拡大計画がコアラに及ぼすこの影響は、オーストラリアおよび日本の両国の人々にお知らせするべきものと考えております。

また、現在の鉱山および隣接して開発される鉱山が地域農民やコミュニティに及ぼす健康上の影響についても懸念を抱いております。合計 18,000 トンのダストが鉱山から発生し、その大半が現地の農地に堆積するものと見積もっています。

同地域の人々にとって石炭ダストは健康上深刻な脅威であるとのエビデンスがありますが、今日にいたるまで大気への累計的な影響に関する適切なアセスメントは貴社によってなされていません。

現地のコアラたちと人々の健康を将来にわたり守るために、是非とも貴社におかれましてはボガブライ鉱山開発計画を放棄いただけますよう要望したく本書にてお願い申し上げます。

本件についてご検討賜り、ご返答をいただけますと有難く宜しくお願い申し上げます。

敬具

Carmel Flint

Spokesperson,

The Northern Inland Council for the Environment

16 Roslyn Ave  
Armidale NSW  
2350 Australia

Phone 0267 724904

Email [carmelflint@tpg.com.au](mailto:carmelflint@tpg.com.au)

(訳者注) ニュー・サウス・ウェールズ北西部における 8 団体・約 1000 人の個人によって構成されるネットワーク。地域環境が健全であることが直接的に地域コミュニティの健全さにつながっているとの認識から、自然保護活動に共同で取り組んでいる。

(仮訳) 気候ネットワーク

気候ネットワークは、国内の連絡窓口として本活動をサポートしています。

TEL : 03-3263-9210